



東長崎

一ひがながプライド

HIGANAGA PRIDE

PRIDE

HIGASHI NAGASAKI JHS

長崎市立東長崎中学校
学校だより 第14号
令和6年 11月6日発行

自ら誇りと自信を持ち、率先して行動する

家庭学級及び学校保健委員会講演会

長崎市東公民館家庭教育学級及び東長崎中学校学校保健委員会として、11月1日（金）に活水女子大学健康生活学部子ども学科より講師を招いて講演会を開催しました。

先生には、「思春期のこころの理解とその対応」と題して、愛着形成の重要性から思春期のこころの成長や接し方など詳しく説明いただきました。

まず、先生からは、子どもが社会に出て必要な力とは、自ら考え、行動すること。つまり主体性であり、その主体性の基盤となるものが情緒の安定であること。そして情緒を安定させるためには、家庭での愛着形成、保育や教育での信頼関係の構築が必要であることを話していただきました。

そして、例えば、赤ちゃんが空腹のときに泣いて親を求めます。そして親はミルクを与え、赤ちゃんは空腹が満たされます。そのことで、赤ちゃんは親への信頼が生まれます。そのように、子どもが何かの問題に対し養育者を求め、その結果、問題が解決し、快の感情が得られると、養育者への信頼が生まれます。つまり、愛着・信頼とは、養育者と子どもの関係を中心とした結びつきであり、さらには、その繰り返しによる養育者への信頼が他者への信頼へとつながっていくと教えていただきました。

そして、この愛着形成の重要性を踏まえ、思春期・青年期の特徴や、不安やストレスを抱える子どもたちへのかかり方を話していただき、中学生とかがわる大人としてたくさんのことを考えさせられる時間となりました。

お知らせ

SNSを悪用した犯罪にご注意を

昨今、多くの方がSNSを利用するようになり、SNSを悪用した犯罪被害が増加しています。

児童・生徒に関する犯罪としては、県内においてSNSを通じて知り合った犯人による未成年者誘拐事件が発生し、県外では、闇バイト・SNS型投資・ロマンス詐欺の被害も急増しています。

本校でも、SNSを介した生徒間のトラブル事案も発生していますので、SNSの利用については、細心の注意を払うようお願いいたします。



警察からのお知らせ

SNSを悪用した犯罪に御注意を!!

1 誘拐、わいせつ被害（児童・生徒）

児童・生徒がSNSで知り合った犯人から、誘拐やわいせつ被害に遭っています。



☆詳しくは・・・

県警察HP

→暮らしの安全

→少年の非行防止・犯罪被害防止

→ネットに「フィルタリング」

→フィルタリング啓発チラシ



2 闇バイト勧誘（生徒）

生徒がSNSで知り合った相手から犯罪行為を強要され、詐欺などの犯罪に加担させられています



☆詳しくは・・・

県警察HP

→暮らしの安全

→「闇バイトは犯罪の実行者です!!あなたの人生が台無しに絶対に手を出さないで」



3 SNS型投資・ロマンス詐欺（生徒・保護者）

SNSで知り合った相手から投資金や交際費名目で現金をだまし取られる犯罪が急増しています。

（9月末現在、長崎県内で約7億5,300万円の被害が発生）



☆詳しくは・・・

県警察HP

→ニセ電話詐欺（特殊詐欺）対策

→SNS型投資詐欺・ロマンス詐欺に注意



11月は「ココロねっこ運動強調月間」です

11月1日(金)～11月30日(土)までの1か月間、ココロねっこ運動強調月間として、「若者の社会的自立支援の促進」「子どもを犯罪や有害環境等から守るための取組の推進」「こどもの貧困対策の推進」「児童虐待の予防と対応」「生活習慣の見直しと家庭への支援」の5項目を重点課題として取り組まれます。

また、こども家庭庁が11月を「秋のこどもまんなか月間」として、こども・若者の健やかな育成及びこども・若者が社会生活を円滑に営むことができるための支援や取組を呼びかけています。

家庭・学校・地域社会・行政が一体となり、大人のあり方を見直し、社会全体で子どもを健やかに育てていきましょう。

一緒に読んでくださる方が増えますようお願い申し上げます。

大人みんなで 子どもの心を育てよう!

ココロねっこ運動

長崎っ子をすこやかに育てるために

●ココロねっこ運動とは

子どもたちの心根っこを育てるために、大人のあり方を見直し、みんなで子どもを育てる長崎県民の県民運動です。

また、長崎県ではあいち運動や地域で子どもを守る活動など、子どもの健全育成のための取組を「ココロねっこ運動」として推進しています。

平成13年度からスタートした運動で、平成20年10月には「長崎県子育て差別」の中で県民運動として取り上げることが認められました。

●ココロねっこ運動が生まれた背景は?

- ココロねっこ運動が始まった背景は、平成13年度、少子化率が大きな社会問題となった時期でした。また学校再開55周年を迎える中で、子どもたちが健康で活発に社会で過ごす環境が整っていないと懸念されていました。このことから子どもの育ちに対して家庭や地域社会における大人のあり方が問われていました。

●他の健全育成運動との違いは?

- ココロねっこ運動の特徴は、大人に焦点を当てていることです。大人のあり方が子どもの成長に反映されているという考えに基づいて運動を進めています。

●大人が変われば子どもも変わる ～大人のあり方を見直す～

子どもは、親や身近な大人をモデルとして成長します。また「子どもは社会を映す鏡」とも言われます。子どもの将来のある行動、子どもの発達としてとらえるだけでなく、大人自身の問題として考え、変えてみることも必要です。

子どもたちはよき本を求めています。

●できることから、大人から

子どもは日々成長しています。子ども期の成長のあり方は、その子の将来に大きな影響を与えます。子どもが大人になり人々とのよりよい関わりの中で自立して生きていけるように、私たち大人がモデルとなり心の根っこをしっかりと育てたいものです。

長崎っ子の「夢・憧れ・道」、大人が示すその姿

早寝・早起き・朝ご飯

ココロねっこ10 ①「早寝・早起き・朝ご飯」の生活リズムを確立させましょう。

●睡眠の改善

睡眠不足は、子どもの健康や学習意欲に悪影響を及ぼします。睡眠不足が続くと、集中力が低下し、学習効率も下がります。また、免疫力が低下し、感染症にかかりやすくなります。

●「朝ご飯」の重要性

朝ご飯は、1日のエネルギーの源です。朝食を摂ると、脳の働きが活発になり、学習意欲が高まります。また、腸の働きも活発になり、便秘を防ぐことができます。

●生活リズムを整える

毎日の生活リズムを整えることで、自然と睡眠が改善されます。就寝時刻や起床時刻を一定にし、朝ご飯を摂る習慣を身につけましょう。

「家庭の日」

ココロねっこ10 ②毎月第3日曜日(祭日除外)は「家庭の日」です。家族の絆を深めましょう。(朝・昼・夜10分程度、家族一丸の食事や会話)

●「家庭の日」の重要性

家庭は、子どもが成長する場所です。家族の絆を深め、子どもを育てるために「家庭の日」を大切にしましょう。

●「家庭の日」の過ごし方

家族全員で食事をする、家族で話をする、家族で遊ぶなど、家族の絆を深める活動を行いましょう。

親が育つ子も育つ

ココロねっこ10 ③学校・PTA行事や地域行事に、すすんで参加しましょう。

●参加して、子育て

学校や地域行事に参加することで、親自身も成長し、子どもを育てる力を身につけます。

●参加のメリット

- 子どもの成長を一緒に喜ぶことができる。
- 他の保護者や地域の方と交流できる。
- 学校や地域への理解が深まる。

あいさつ・声かけ

ココロねっこ10 ④あいさつ・声かけ運動を推進し、子どもも大人も笑顔溢りになりましょう。

●心を開く人・魔法の言葉

「あいさつ」は、心を開く魔法の言葉です。笑顔であいさつをすれば、相手も笑顔になります。

●声かけの重要性

子どもに対して適切な声かけをすることで、子どもの成長を促すことができます。

ネット・電子メディア利用ながさき基準・夜9時まで

ココロねっこ10 ⑤親の責任で適切な利用を促すことは、子どもを守るためにフィルタリングを必ずしましょう。

●ネット・電子メディア利用 よる9じまで

子どもが安心してインターネットやスマートフォンを利用できるように、フィルタリングを必ず設定しましょう。

●フィルタリングの重要性

フィルタリングを設定することで、子どもが有害な情報にアクセスするのを防ぐことができます。

あたたかいまなざしを

ココロねっこ10 ⑥子どもや子育て家庭を温かく見守り、信頼のりましょう。

●人々の関わりの中で

子どもや子育て家庭を温かく見守り、信頼のりましょう。地域社会で支えあえることが大切です。

●信頼のり

子どもや子育て家庭に対して信頼のりを行うことで、子どもは安心して成長することができます。